戦争法反対集会・パレード

選挙でひっくり返すしかない

長野・佐久市

「国民連合政府実現を」

長野県佐久市で26日、戦争法に抗議する集会とパレードが行われました。「断固反対」「アベさんは今までのように挫折感で立ち消えていくことを期待しているかもしれないが、そういうわけにいかない」と怒りを口にしながら、続々と参加者が集まり、280人余が参加しました。主催は団体と個人が参加する安保法案ハイアンアクションです。

集会では共産党と民主党が連帯のあいさつ。共産党の唐沢ちあき参院選挙区候補は「国会で決まったことは国会で覆す。戦争法廃止の一点で共同する国民連合政府を。カギは世論と運動。『政権をかえなきゃダメ』の声を大きくひろげよう」と訴えました。

リレートークでは「来年の選挙でひっくり返すしかない、ひっくり返すぞ」との訴えに参加者が「オー」と応えます。会場中に「わたしたちは、忘れない、あきらめない。屈しない」の声が響きました。

立科町から参加した竹花初雄さん（90）は「町内で350人が意見広告に協力した。その力で10月に軽トラデモを成功させたい」と。子ども3人とパパと参加した34歳のママは「いてもたってもられない思いで来た。粘りつよく声をあげたい」と語りました。

集会参加者はプラカードを手に市内をパレード＝26日、長野県佐久市

パレードでは藤岡毅英県議が「戦争法はいますぐ撤回」などとコールすると、交差点で信号待ちしていた10人ほどが大きく手を振り、共感しあう場面もありました。

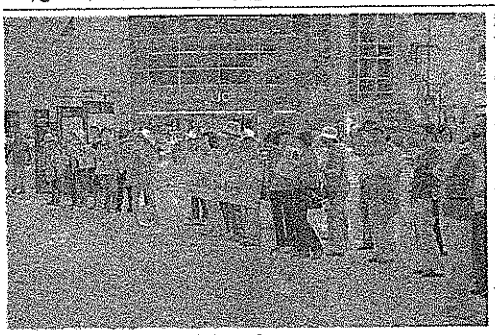
富山

平和願い実現 新たな一歩へ

女性のレッドアクションとやま実行委員会は26日、富山市のマリエとやま前で、「私たちはあきらめない。平和への願いを実現するための新たな一歩へ」と、戦争法廃止を呼びかけるスタンディングアピールにとりくみました。赤いものを身に付けた女性を中心に、75人が参加しました。

参加者は、日本国憲法前文の朗読やフリートークで戦争法廃止をアピール。富山市の本木英子さん（80）は「安倍政権は戦争法を強行したが、ここで負けてはダメ。私もがんばるので、若い人にもがんばってほしい」と呼びかけました。

参加者は全員で「戦争反対、こわすな憲法」「戦争法はいますぐ廃止」などとコールしました。



一列に並んで戦争法廃止をアピールする参加者＝26日、富山市

岐阜・多治見市

高校生たちがマイクで訴え

岐阜県多治見市の昭和公園で「どもならんNO！安倍政権は退場せよ」の集会・パレードが26日行われ、90人余が参加しました。主催は同実行委員会。

福田静夫実行委員長（元日本福祉大学名誉教授）は「安倍政権には平和・民主主義・自由の憲法精神が全部抜け落ちている。緊挙を許さないたたかいに力合わせて頑張ろう」とあいさつしました。

民主党元衆院議員の阿知波吉信氏は「安倍首相は選挙までに忘れるはずだと国民に挑戦状をたたきつけている。安倍政権打倒に立ち上がろうではないか。先頭にたって頑張る」と決意表明しました。

3歳の娘を持つ大野あずさん（30）は「国民の声を聞かない安倍自公政権は許せない。若者は選挙に行こうと行動は周囲の注目を集め、写真をとる観光客や手を振って激励する人がいました。

パネルを掲げコールする参加者＝26日、岐阜県多治見市

変化してきている。恥ずかしくない行動をとっていきたい」と述べました。

弁護士、民商、無所属市議、共産党の三輪寿子市議もあいさつ。強行採決された「19日」を怒りの日として行動していくことを確認しました。

多治見駅までのパレードでは「採択無効の戦争法」「憲法違反の戦争法」とパネルを掲げコールしました。

終了直後、進学塾にいた高校生2人（17）が走って駆けつけ、「僕たちも戦争法に反対です。19日の行動に参加します」とマイクで訴え、大きな拍手が湧きました。

浜松

「戦争法廃止へ頑張る」 ママの会が憲法学習会

浜松市内の20代～40代のママたちで構成する「安保関連法に反対するママの会in浜松」は27日、子どもたちの未来を守るため戦争法や憲法について学ぼうと第2回憲法カフェを西区で開催しました。約30人が参加しました。

小笠原里夏弁護士が講師をし、憲法9条に違反する戦争法を強行採決した立憲主義破壊の安倍政権を批判。自民党の改憲草案を紹介し、「政府に反対する集会・デモまで制限する。人権を縛る立憲主義破壊の改憲は絶対に許されない。子どもたちにどんな社会を手渡すか広く考えあおう」と呼びかけました。

政治的な学習会に初めて参加した2人の子育てママ（31）は「さっそく自衛隊が南スーダンで武器を使った治安維持活動の計画があるなんて、聞いていた話と全然違う。何も知らないままにどんどん進められていることに恐怖を感じた。『仕方ないこと』と思っていた自分が恥ずかしい。知ったことを自分のなかだけにとどめず、周りのママたちに広げたい」と語りました。

ママの会立ち上げメンバーの女性（41）は「私たちは戦争法が成立しても全く諦めていない。廃止にさせるため草の根で頑張る。普通のママたちに戦争法の危険など知ってもらうためアイデアを出して、さまざまな手を尽くしたい」と話していました。

9/30 赤旗